

# 『大地と融合するバウビオロジー要塞』



型枠ブロック（外壁）と煉瓦（内壁）で堅穴式住居を再現。  
法面部分に組積造を埋め込む事で、自然エネルギーを有効活用でき、夏は涼しく・冬は暖かいエコロジー空間を提案できる。



ブロック壁は自然の中にクールさを演出し、経年変化と共に無骨さと強さを主張する。堅穴式住居の様に調和する顔と、要塞の様に主張する顔がブロック組積造のポイント！

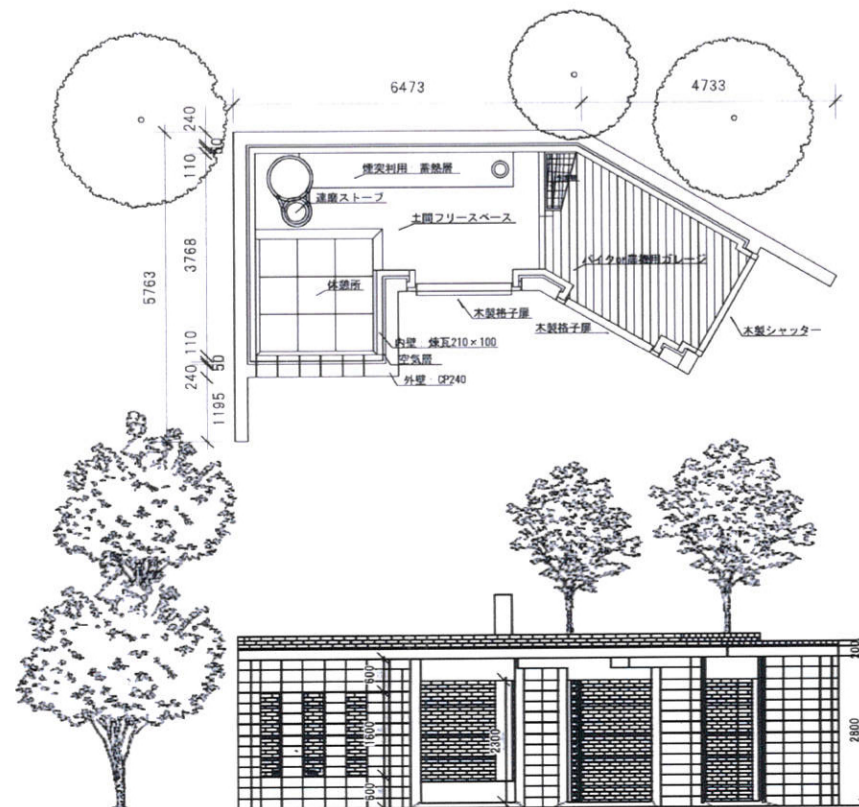
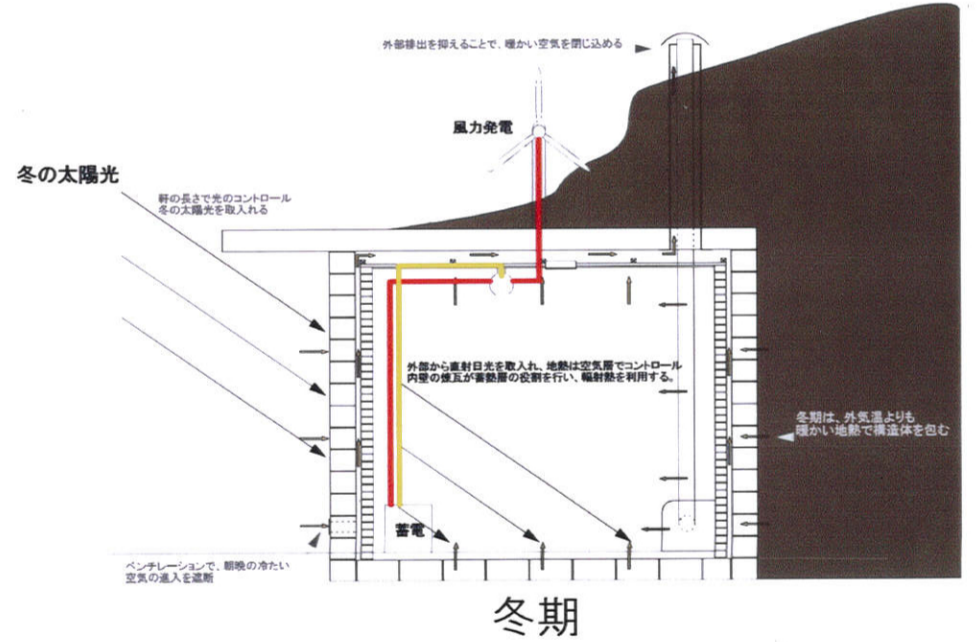
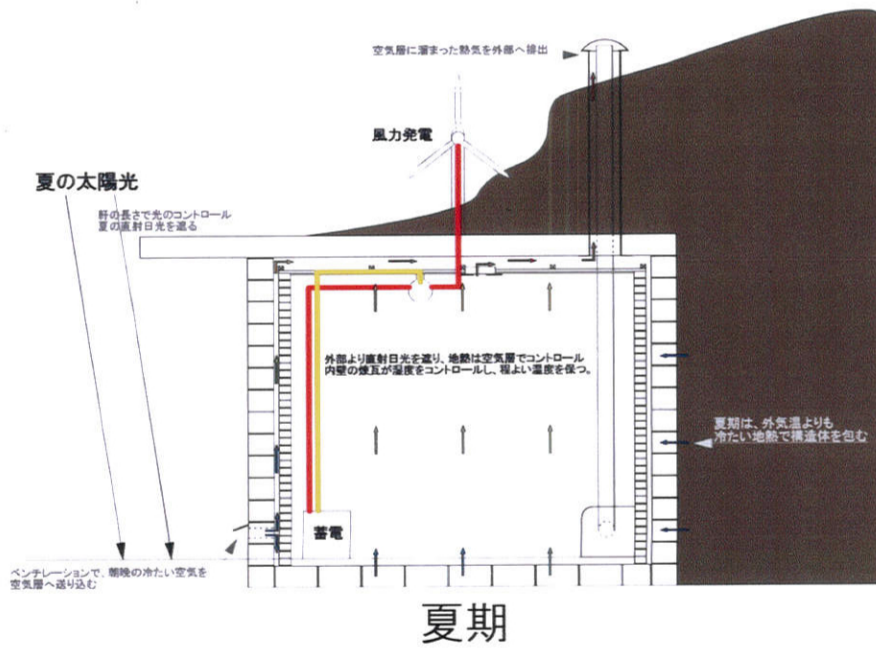


北・東・西面は法面に埋まる為、ブロックと煉瓦の二層構造にし空気層を設けた構造体の軸とする。これにより南面は、光や風のコントロールを行いつつ自由な表情を作ることが可能。

## 『自然と寄り添うエコロジー空間』 自然エネルギーを有効活用する組積造

- POINT:1 型枠ブロック外壁による外断熱効果
- POINT:2 煉瓦内壁による蓄熱効果
- POINT:3 吸湿・保温・乾燥耐久性の向上
- POINT:4 音響・音吸収度による心理的效果

4つのポイントにプラスし、立地条件や自然エネルギーを使用した風力発電や地熱を取入れることで、より組積造によるエコロジー効果が生まれる。



『のんびり寛ぐ畳の間と、古き良き土間生活の提案』  
連絡ストープでオールドなライフスタイルを！  
連絡ストープから伸びる煙突は、土間内部を経由することで、蓄熱層となり、土間空間も楽しい場として提案できる。

『趣味・ワークスペースの提案』  
畳や土間空間と見切りをつけ、板張りの間を大人の秘密基地として提案。  
段々畑などを利用して、この構造物を提案する場合など、農機具部屋への提案も可能。